

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2018年6月29日

①事業者名	株式会社 教育測定研究所				
②測定ツール名	英検IBA TEST C 4技能版 (2019年4月申込受付開始予定)				
③主な対象者	英語の基礎学力の定着度合いを診断することを目的とした測定ツールで、特に義務教育段階の学力の定着度評価を確認したい学習者を対象としています。				
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ
			○		○
⑥申請する測定ツールの目的・概要	<p>・今回の申請にあたり、教育測定研究所は公益財団法人 日本英語検定協会(以下、英検協会)と英語テストのみならず、管理システム、学習ツールをパッケージ化し、「英語4技能コンソーシアム」を組織します。このコンソーシアムの枠組みを通じて、「英検IBA TEST C 4技能版」を提供いたします。</p> <p>・「英検IBA TEST C 4技能版」とは、英検協会により開発された、4技能の力を安価に測定できるアセスメントツールです。実用英語技能検定(英検)で出題された問題から、良質な問題を再利用して開発されております。</p> <p>・TEST Cの出題レベルは準2級～4級レベルで、義務教育段階から高等学校の共通履修科目(コミュニケーション英語I)を網羅する出題内容となっています。特に義務教育段階の学力の定着度評価を確認したい学習者を対象とします。</p> <p>・更に、測定ツールの提供のみならず、eラーニング教材及び生徒の受検履歴や成績、教材の学習状況をトラッキングできるシステムも併せて提供し、基礎学力および英検級取得率の向上に向けたPDCAサイクル構築のサポートをいたします。</p>				
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	<p>・英検で出題された問題から良質な問題を再利用した4技能の測定ツールです。</p> <p>・4技能総合および技能別に、英検級レベル判定、および英検CSEスコアによるフィードバックもあり、能力の伸長度を細かく測定できます。また、テスト結果に応じ、今の英語力で行えること(Can-Do)が具体的に説明されます。</p> <p>・学校単位のみならず、自治体内の学校別の英語力の現状・伸長度を把握し、英語力向上に向けたPDCAサイクルの構築するために活用できます。</p> <p>・学校内でも年度当初のクラス分けや、年度途中の能力伸長度の把握にも活用でき、生徒たちのレベルにあった指導を可能にします。さらに、英検公式eラーニングであるスタディギア for EIKENのベーシック版や既存で活用されている英検対策教材を活用することで、受検結果に基づく得意/不得意技能の強化を図ることができます。</p> <p>・団体申込システムである「団体サポートシステム」もご利用いただけます。英検及び英検IBAの受検履歴の確認、スタディギア for EIKENの学習状況を閲覧することができ、先生方の学習指導をサポートしていきます。英検本検定の申込も可能であり、IBAのCSEスコアから最適な英検級を特定し、受験いただくことで英検級合格率の向上や英語学習に対するモチベーションの向上、ひいては、基礎学力の向上に寄与いたします。</p>				
⑧実施期間、年間実施回数	<p>・問題セットは複数ご用意していますので、複数回受検も可能です。</p> <p>・学校ごとに受験日の設定が可能です。年間実施回数も学校側の希望に可能な限り近づける形で受け付けます。</p> <p>・2019年4月申込受付開始、6月より実施可能(予定)です。</p>				
⑨実施方式(CBT/PBT)	3技能(RLW): PBT 1技能(S): CBT				
⑩試験時間(分)	国語	数学	英語		
				(RL計)45分(W)15分 (S)約8分	
⑪受検料	3,000円/回(税込)				
⑫標準返却期間	協会へ答案着荷後、30日～60日(予定) * 受験時期の集中度合いに応じて若干の幅が生じます。				
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	<p>・英検IBA http://www.eiken.or.jp/eiken-iba/</p> <p>・スタディギア for EIKEN https://www.ei-navi.jp/service/studygear.html</p> <p>※2018年8月フルリニューアル予定</p> <p>・団体サポートシステム https://www.youtube.com/watch?v=ULxx6t3QUEM https://www.eiken.or.jp/eiken/info/2016/pdf/20160531_pressrelease_dansupport.pdf</p>				

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社 教育測定研究所
測定ツール名:英検 IBA TEST C (4 技能版)
対象教科:英語
測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

(1) 出題の基本方針

主な対象者

・英語の基礎学力の定着度合いを診断することを目的として、特に義務教育段階の学力の定着度評価を確認したい高等学校1年および2年生を対象としています。

測定しようとする資質・能力

・「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」に関する資質・能力等を測定します。

問題の出題方針

- ・義務教育段階から共通履修科目(コミュニケーションI)の範囲まで網羅する出題です。出題の中心としては、義務教育段階、つまりCEFR A1 中位～上位(英検4級～準2級)レベルになります。
- ・実用英語技能検定(英検)より過去に出題された問題より、良質な問題を再利用して開発された内容です。
- ・リーディングとリスニングでは、主に知識・技能を問う問題を中心に構成されております。ライティングやスピーキングについては、知識や経験をもとに、自分の意見を外国語で形成・整理・再構築し、表現させる出題をしております。これにより、思考力・判断力・表現力を評価いたします。

学習指導要領との対応

・英検 IBA の元となる英検自体が学習指導要領に配慮した出題内容となっています。中高の検定教科書に使用されている語彙・文構造をデータベース化し、出題の際の参考としています。

(2) 構成等

① 出題形式

・出題形式は選択式・記述式・録音式を組み合わせしております。リーディングとリスニングでは、主に知識・技能を問う問題を中心に構成されております。ライティングやスピーキングについては、知識や経験をもとに、自分の意見を外国語で形成・整理・再構築し、表現させる出題を通し、思考力・判断力・表現力を評価いたします。ライティングについては、25語～35語程度の記述式問題、スピーキングについては自分の考え等の発信を含む録音式問題を7問出題いたします。

(リーディング) 選択式 35 問

(リスニング) 選択式 30 問／1 教室につき、CDプレーヤー1 台(各学校でご用意)を使った音声放送による出題。

(ライティング) 記述式 1 問(25語～35語程度)

(スピーキング) タブレット型 PC(英検協会貸与)による録音式7問(約8分)

② 出題範囲

・義務教育段階の出題においては、自分や家族、友人といった身近な存在や趣味、買い物など日常的な話題が中心となっています。共通履修科目(A2)の出題では、日常の話題から一般的な話題へと世界が広がり、海外文化、歴史、教育、科学など社会性のある題材を選び、高校生の知的好奇心を満たす内容となっています。

(3) 難易度設定の考え方・方法

- ・各技能全小問につき、過去に出題され、難易度等の数値が付された英検問題の中から、テスト設計書に則り、義務教育段階の測定から共通履修科目(コミュニケーション英語I)の測定に適切な難易度、かつ識別度の高い問題を選択し全体を構成しています。
- ・義務教育段階の学習定着度を測定する内容から共通履修科目(コミュニケーション英語I)の範囲を網羅します。義務教育段階の CEFR A1 中位～上位レベルの問題を中心に据え 共通履修科目(コミュニケーションI)の A2レベルの問題も一部出題されます。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・義務教育段階の出題(A1 中位～上位)においては、自分や家族、友人といった身近な存在や趣味、買い物など日常的な話題が中心となっています。
- ・共通履修科目(A2)の出題では、日常の話題から一般的な話題へと世界が広がり、海外文化、歴史、教育、科学など社会性のある題材を選び、高校生の知的好奇心を満たす内容となっています。
- ・スピーキングテストは CBT による録音型ですが、聞き手を意識した発話になるように、質問は動画上の話者から発せられます。

(5) その他特長

II. 結果提供に関すること

下記(1)個人成績表及び(2)団体成績表共に、日本英語検定協会(以下、英検協会)から、申しいただいた各団体へ郵送し、団体を通じて個人へ提供いただきます。

また、団体責任者の方々は、団体サポートシステムを通じて、団体全体での技能別スコアを確認でき、個人成績表も閲覧することが可能な環境を準備していく予定です。

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

4技能 個人成績表(リーディング/リスニング/ライティング/スピーキング)

- ・英検レベル(準2級以上/準2級/3級/3級受験)
 - 技能別だけでなく、英検同様のロジックにより、4技能総合の級レベルが判定される。
- ・CSE スコア(4技能総合スコア/技能別スコア) * 各技能 550 点満点
- ・過去2回、合計3回分の受検履歴と成績
- ・「現在のあなた」「やってみよう！」
 - 現在の英語力の説明(弱点等)と学習アドバイス
- ・レベル換算(受検者の成績をもとに、センター試験・TEAPの得点への換算を示す)
- ・英検出題例 チャレンジしてみよう!(英検過去問題より、各受験生の成績にあった問題を練習用として提示)
- ・あなたの英語力でできること～英検 Can-Do リストから～
 - 成績表に表示された URL 先に、現在の英語力に基づいた Can-Do が示されている。

(2) 学校等への結果提供内容・方法

4技能 団体成績表(リーディング/リスニング/ライティング/スピーキング)

- ・英検レベル(準2級以上/準2級/3級/3級受験)
 - 技能別だけでなく、英検同様のロジックにより、4技能総合の級レベルが判定される。
- ・CSE スコア集計(平均スコア/最高スコア/最低スコア/スコアレンジ別受験者数)
- ・英検級レベル別人数分布
- ・分野別平均正答率
- ・過去2回、合計3回分の受検履歴と成績
- ・技能別スコア集計(団体の英検級レベル/平均スコア/最高スコア/最低スコア/スコアレンジ別受験者数)

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

- ・成績は各技能 550 点満点の均等配点により評価し、合計 2200 点満点の CSE スコアで表示します。
- ・スコアによる成績表示に加え、技能別および 4 技能総合の英検級レベルも提供いたします。4 技能総合の級レベルは、英検同様のロジックを用いて判定します。
- ・級レベル判定は4段階の表示となり、準 2 級以上／準 2 級／3 級／3 級受験レベルとなります。
- ・技能別のスコア成績に基づき、どの技能が強く、どの技能が弱いのか等の情報を提示し、あわせて学習アドバイスを受検生に提供します(成績表の「現在のあなた」「やってみよう!」)。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

各技能全小問につき、過去に出題され、難易度等の数値が付された英検問題の中から、あらかじめ設定されたテスト設計書に基づき、適切な難易度、かつ識別度の高い問題を選択しております。

(2) 学校における実施方法

- ・学校での実施にあたり、事前に実施マニュアルを英検協会から配布します。事前に不明な点を確認したい場合や当日トラブルが発生した場合の対応として、英検協会にて専用の問い合わせ窓口(電子メール・電話等)を設けます。
- ・学年単位の受検から、学校単位、自治体単位の受検まで対応します。学力伸長度を測定するためにも、複数年、定点観測による受検を推奨いたします。
- ・試験当日の運営は学校で行っていただきます。PBT の場合は問題冊子・解答用紙・アンケート用紙の配布、CD プレーヤーの操作、実施時の監督から、問題冊子・解答用紙・アンケート用紙の回収、英検協会への返送、CBT の場合は、タブレットの配布・事前の動作確認、実施時の監督、タブレットの回収、英検協会への返送を行っていただきます。
- ・各学校へは英検協会からタブレットを貸出します。限られた台数のタブレットを、多数の学校にてご受験いただく機会を提供するため、貸与するタブレット数には一定の上限を設ける予定です。
申込人数に基づき、英検協会であらかじめ設定した計算式に基づき、貸出しタブレット数を算出します。受検モデルは実施マニュアルに説明されております。
- ・タブレットの到着後、1 週間以内に実施を終えていただき、英検協会へ返送していただきます。この点も実施マニュアルに記載しております。

(3) 採点の方法と体制

採点は英検協会が担当いたします。採点結果の信頼性の向上、および採点の効率性向上のために、英検協会では様々な取組を行っております。

- ・選択式のリーディングとリスニングにおいては、マークシートの読み取りによる自動採点を行っております。ライティングとスピーキングの採点につきましては、英検の採点ですでに実績のある会社へ委託いたします。
- ・評価基準につきましては、英語教育やテストングに知見のある外部有識者の意見を取り入れて作成されております。
- ・採点者全員には、事前トレーニングと採用テストを課すことで、採点者としての基本的な質を担保します。また、定期的に採点者のサンプリング調査を行い、採点の質向上に取り組んでまいります。

(4) 情報管理体制

- ・英検 IBA に関わる申込情報及び結果情報について英検協会にて保有し、eラーニングツールの「スタディギア for EIKEN」の利用者情報は、教育測定研究所にて保有致します。
- ・英検協会では、「情報セキュリティ基本方針」と「個人情報保護方針」を定め、個人情報の保護、情報資産の保全に努めております。また、本業務におきましては、問題資料等非常に機密性の高い資料の機密保全に関しても、個人情報と同様の重要性を認識し、情報セキュリティ方針に則り、情報セキュリティの保持に努めます。
- ・また、本事業においては、英検協会や OECD における国際学力調査(PISA、TALIS)等で CBT システムの開発・運用実績を保有する株式会社 教育測定研究所にて、スピーキングテストの実施・採点に用いる CBT システムの開発および運用管理業務、スタディギア for EIKEN の運用管理業務を実施いたします。P マーク及び ISMS の認証を取得していると共に、本業務を実施するに当たっては、当該業務の目的の達成に必要な最低限の範囲で情報を用いる予定であり、機密情報を取り扱う場合は、英検協会と同様に情報漏えい等、不具合の発生を防止するための措置を講じます。
- ・なお、問題印刷業務や配送業務等で外注する業者は、すべて英検協会の検定事業その他の事業において実績のある業者です。

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

Reading および Listening について

① 視覚障がい者への対応

拡大文字、および点字問題セットによる対応をいたします。

*ただし、協会への答案返送前に先生による補助作業が一部必要となります。

② 聴覚障がい者への対応

リスニングスクリプト(リスニング放送内容を書面上に記述したもの)の受験者への配布による対応をいたします。

Speaking および Writing について

現在、対応を検討中です。

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

事前／事後学習教材として、以下の5点がございます。

① スタディギア for EIKEN ベーシック(無料)

英検に必要なスキルが総合的に身につくオンライン学習プログラムです。「英検 IBA TEST C 4 技能版」を受検される団体の生徒様は、申し込みから6ヶ月間、無料で利用できます。

<https://www.ei-navi.jp/eiken/cp/>

※コンテンツ無制限のプレミアム(有料版)へのアップグレードもご用意しておりますが、利用人数及び利用期間などに応じ、個別お見積対応いたします

② deep listening(有料 各レベル 税込 770 円／冊子+CD)

英検 3 級(A1 上位)・準 2 級(A2)・2 級(B1)の 3 レベルから構成される学校採用リスニング教材(冊子+CD)です。多様な種類のリスニング素材を使用している問題に取り組むだけでなく、ディクテーションで詳細に聞き取る訓練もします。

<http://www.eiken.or.jp/learning/school/educational/>

③ Step Up Listening(有料 各レベル 税込 500 円／冊子+CD)

英検 4・5 級(A1 中位・下位)、3 級(A1 上位)、準 2 級(A2)、2 級(B1)レベルから構成される学校採用リスニング教材(冊子+CD)です。英検の問題形式に沿ってリスニング能力を鍛えます。

http://www.eiken.or.jp/learning/school/stepup/pdf/SUL_moushikomi.pdf

④Dr. Write の英検3級ライティングに挑戦！（無料／英検ウェブサイトからダウンロード）

パラグラフライティングの基礎が学べるライティング教材（冊子）。英検3級（A1 上位レベル）の対策教材にもなります。英検ウェブサイトから無料でダウンロードできます。

http://www.eiken.or.jp/eiken/exam/grade_3/pdf/DrWrite_grade3.pdf

⑤Dr. Write の英検準2級ライティングに挑戦！（無料英検ウェブサイトからダウンロード）

④の続編。英検準2級（A2 レベル）の対策教材にもなります。英検ウェブサイトから無料でダウンロードできます。

http://www.eiken.or.jp/eiken/exam/grade_p2/pdf/DrWrite_gradep2.pdf

（3）学習状況等のアンケートの有無、内容

- ・各実施団体に生徒用アンケートを送付します。成績返送と同じタイミングで集計結果も返送いたします。なお、成績結果とのクロス集計はいたしません。
- ・生徒用アンケートは、「情意面」（例 英語は好きですか／勉強は好きですか）と「英語学習方法」（例 学校の授業以外で英語を勉強していますか）について 19 問から構成される内容となります。

（4）個人受検の可否

個人受検には対応しておりません。

（5）問題内容の情報提供

リーディングおよびリスニングのサンプル問題は英検ウェブサイトに掲載されております。

<http://www.eiken.or.jp/eiken-iba/>

ライティング、スピーキングのサンプル問題については、2018 年 11 月を目処に公表予定です。

（6）その他

教育委員会からの要請に基づく情報提供については、学校の同意を得た上で、直接、教育委員会に提供させていただきます。もしくは、教育委員会には直接提供せず、各学校から教育委員会に提供していただく等、対応内容は個別協議の上、決定させていただきます。

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名: 株式会社 教育測定研究所
測定ツール名: 英検IBA TEST C 4技能版
対象教科: 英語
測定内容の区分: 基本レベル

I. 出題に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準					
			I. (1)	I. (2)	I. (3)	I. (4)	I. (5)	

II. 結果提供に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II. (1)	II. (2)
個人用帳票 (4技能)	英検IBA 個人成績表	1	○	○
団体用帳票 (4技能)	英検IBA 団体成績表	2	○	○

III. 運営に関すること

<提出必須の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等)	英検IBA 実施要項	3
学校用実施マニュアル	同上	

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
情報管理体制について	(参考) 英検協会の情報セキュリティ方針	4

IV. 情報開示に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
コンソーシアム説明	英語4技能コンソーシアム概要 (スタディギア、各種英検対策教材、団体サポートシステムの説明含む)	5
事前事後教材説明	deep listening	6
事前事後教材説明	Step Up Listening	7
事前事後教材	Dr. Writeの英検3級ライティングに挑戦!	8
事前事後教材	Dr. Writeの英検準2級ライティングに挑戦!	9

英検

IBA

手軽に、低価格で英語力をチェック!

英検 IBA

EIKEN Institution Based Assessment

英語能力判定テストを「**英検 IBA**」としてリニューアル!
より使いやすく、より低価格でご提供いたします。



メリット
1

テスト時間は 45分

中学・高校の1授業時間内で、より実施しやすい試験時間に!

メリット
2

1人 500円 (税込) で測定

500円/人で受験可能。実受験者数でのご請求。

※成績はデータでの提供となります。詳細は2ページ目の「英検IBAと英語能力判定テストの主な違い」をご確認ください。

メリット
3

スコアと英検レベルによる充実した成績表

CSEスコアで他のテストとも比較可能。英検レベルを含めた充実した内容をカラーで。

メリット
4

迅速に成績データを提供

答案受領後、3営業日以内に成績データをアップロード!

英検

IBA

英検 IBAとは

「英語能力判定テスト」をより使いやすく、より低価格で！フィードバックはさらに充実！
 英検IBAは、2003年に当協会が英検の良質な問題を利用して開発した「英語能力判定テスト」をベースとして、テスト時間の短縮と低価格化を実現しつつ、試験結果のフィードバックをより充実させたテストです。英語能力判定テストはリリース以来、多くの皆様にご受験いただきました。ご利用いただいた学校様、企業様の声に応え、以前よりも「より使いやすく」、「より低価格で」、「より充実したフィードバック」をご提供できるよう進化を遂げた英検IBAを、日常的な英語力の測定、学習成果の確認や目標設定にご活用ください。

リニューアルの3大ポイント！

① 新スコアCSEを導入！

CSE(Common Scale for English)とは、(一財)日本生涯学習総合研究所が開発し、2014年9月に当協会と共同で発表した、CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)に対応した尺度です。当協会の各試験にとどまらず、国内外の資格・検定試験を運営する各関連機関にも協力を仰ぎ、最終的にあらゆる資格・検定試験で「CSE」を共通スコアとすることを目指しています。スコアを共通化することで、英語学習の初期段階から継続的に伸長度を確認することができます。またスコアを4技能に分類して表記*することで各技能別の能力が把握しやすくなります。

* IBAはReadingスコア、Listeningスコアのみとなります。
 ※2016年4月よりCSE1.0からCSE2.0へリニューアルしました。

② 時間(45分)も価格(500円)も使いやすく！

テスト時間は45分。中学校・高校の授業時間50分の中で実施しやすくなりました。4技能の育成が求められる昨今の流れを考慮し、リーディングとリスニングの出題比率もほぼ均等に設計しています。また気軽に、日常的にご利用いただけるよう、500円というリーズナブルな価格を設定しました。英検IBAを定期的に英語力の測定にご活用いただき、目標設定→英語学習→英語力測定の学習サイクルの指標の1つとしてご利用ください。

③ フィードバックが充実！

個人成績表には、リーディング、リスニングの技能別 英検 IBA CSEスコアに加えて、英検級レベルも表示。受験者は自らの英語力を的確に把握できるとともに、英検受験の目安としてもご利用いただけます。また複数回受験すると前回のスコアも掲載されます。さらに英検級レベルに応じたCan-doや各分野の成績をもとに得意分野、不得意分野からの問題も掲載されますので学習の参考になります。

* 成績はPDFファイルにて提供。協会にて印刷・発送をご希望の場合は、有料オプションを選択してください。
 ※前回スコアは、同一団体によるお申し込みで、氏名・生年月日・性別が一致した場合に掲載可能です。
 ※2016年6月から個人成績表を改訂いたしました。

掲載内容

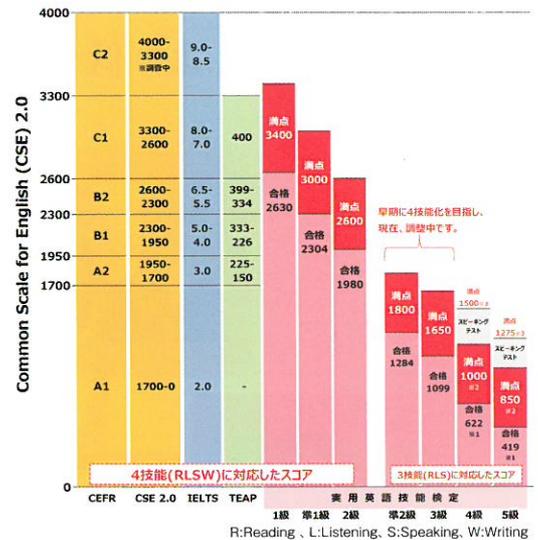
英検IBA CSEスコア	IRT(項目応答理論)に基づく絶対評価のスコアです。受験したテストのレベルや、時期、受験者の学年や年齢に関係なく、常に同一尺度上で受験者の英語力を表しています。
英検レベル(一次)	スコアに基づく、英検一次試験の推定レベルを掲載します。
あなたの英語力でできること	今回取得したスコアをもとに、英検級レベルでできることを日常的な場面設定で具体的な事例を用いて説明します。
レベル換算	TEAPとセンター試験に換算すると何点相当の実力をお持ちか、参考スコアを掲載します。
チャレンジしてみよう！	各分野の成績(正答率)をもとに、得意・不得意分野から問題を掲載します。

● 英検 IBAと英語能力判定テストの主な違い

英検IBAと「英語能力判定テスト」では以下の点が異なります。お申し込み時に必ずご確認ください。

	英語能力判定テスト	英検 IBA
価格(税込)	1,550円~800円(受験者数に応じた価格設定)	500円*
試験時間	55分(D・Eセットは50分)	45分
注意 成績表	紙(白黒)	PDFファイル(カラー) (成績表の印刷・発送は有料オプションで選択可)
成績の受け取り方法	郵送による受け取り(データのみならメールも可)	英検ウェブサイトからダウンロード

*30名からの申し込み。成績はデータによるご提供です。受験者数による価格設定はありません。
 ※英語能力判定テストは2016年度をもって廃止となります。



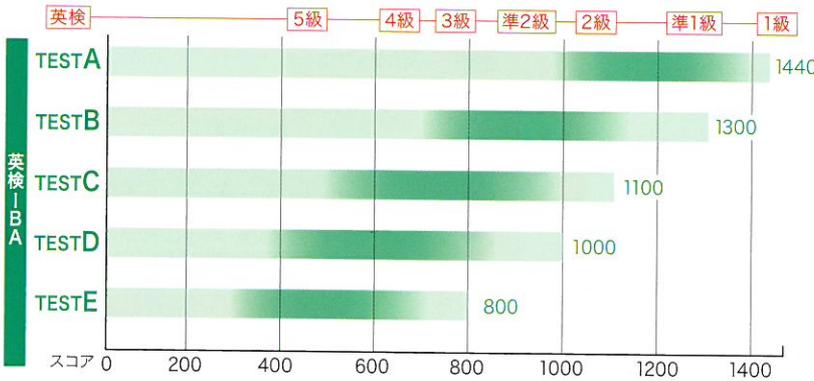
● テストのレベル

テストのレベルは5種類です。受験者層に合った種類を選択することで、より正確な測定ができます。 ※各テストで数種類のテストセットをご用意しています。

	TEST A	TEST B	TEST C	TEST D	TEST E
英検(目安)	準1級・2級レベル	2級～3級レベル	準2級～4級レベル	3級～5級レベル	4級・5級レベル
英検 IBA CSEスコア	0～1440 Reading 0～720 Listening 0～720	0～1300 Reading 0～650 Listening 0～650	0～1100 Reading 0～550 Listening 0～550	0～1000 Reading 0～500 Listening 0～500	0～800 Reading 0～400 Listening 0～400
問題数/ 試験時間	65問/45分 Reading 35問/25分 Listening 30問/20分	65問/45分 Reading 35問/25分 Listening 30問/20分	65問/45分 Reading 35問/25分 Listening 30問/20分	65問/45分 Reading 35問/25分 Listening 30問/20分	60問/45分 Reading 35問/25分 Listening 25問/20分

※2016年4月1日よりCSE2.0でスコアを表示しています。

■ 出題レベルとスコア範囲 (スコア範囲 測定の範囲)



※2016年4月1日よりCSE2.0でスコアを表示しています。

■ 参考：英検各級の満点CSEスコア

級	CSEスコア	R	L	S	W
1	3400	850	850	850	850
準1	3000	750	750	750	750
2	2600	650	650	650	650
準2	1800	600	600	600	—
3	1650	550	550	550	—
4	1500	500	500	500	—
5	1275	425	425	425	—

R=Reading(読む)、L=Listening(聞く)、S=Speaking(話す)、W=Writing(書く)

● 成績データ

成績はデータ(PDF)で提供いたします。掲載内容は、下のイメージ図をご参照ください。成績表の印刷・発送は有料オプションです。ご注意ください。

● 個人成績表 PDFデータ イメージ

※2016年6月から個人成績表を改訂いたしました。

● 団体成績表 PDFデータ イメージ

● 団体成績一覧表PDFデータイメージ

● 有料オプション

以下のサービスは有料オプションです。オプションのご利用はオプション申込用紙にてご申請ください。

	オプション価格(税込)	オプションの内容
やっぱり成績表は紙で送ってほしい! 成績表の印刷・送付	80円/人 + 送料1,000円 (送料は発送先ごと)	PDFファイルで提供する成績データをカラー印刷いたします。成績データアップロード後、5営業日以内に発送予定です。発送先が複数箇所になる場合は、発送先数分の送料をいただきます。
クラスごとに問題を仕分けて送ってほしい! 問題冊子の仕分け	50円/人	ご指定のクラス数、部数で仕分けを行った状態で、問題冊子を梱包いたします。受け取った資料をクラス分けする手間なく実施できます。
正しいデータで成績を受け取りたい! 名簿マッチング	50円/人	成績は通常受験者本人が解答用紙に記入したデータで提供いたします。このオプションは事前に当協会の指定するフォーマットで名簿データをいただき、解答用紙データとマッチングした上で成績データを作成するサービスです。

※オプションの内容に変更がございます。必ず申込書をご確認の上、お申込みください。
※上記の表にないご要望がございましたら、お問い合わせください。

●お申し込みについて

申込資格

団体でのお申し込みを対象とします。個人でのお申し込みはできません。
※30名からお申し込みいただけます。

試験会場・日時と実施体制

申込責任者が試験会場・試験日時を設定し、管理の下、実施していただきます。
※試験問題は非公開です。試験終了後に必ず回収し、ご返送ください。

申込方法

当協会ウェブサイトより英検IBA申込書一式をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記①か②のいずれかの方法でお申し込みください。

- ① 申込用紙(Excel)をメールする E-mail: placement21@eiken.or.jp
② 申込用紙をFAXする FAX: 03-3266-6455

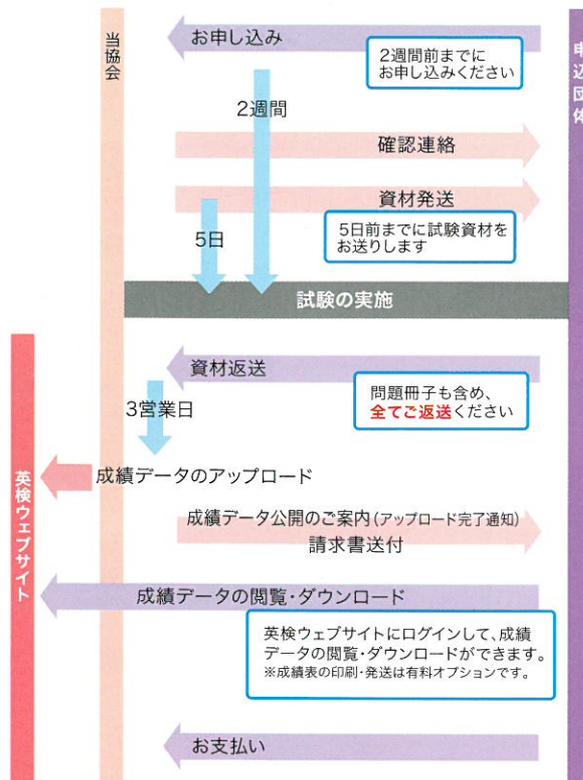
※お申し込みの際は「英検IBA申込規約」を必ずご確認・ご同意の上、お申し込みください。
※オプションをご利用の際は、「オプション申込用紙」をあわせてご提出下さい。

受験料 ※有料オプション選択の場合、別途料金がかかります

500円(税込)/人

その他

試験実施予定日の2週間前までにお申し込みください。
試験資料は試験実施5日前までに送付いたします。



●よくあるご質問(FAQ)

Q 現在使っている、英語能力判定テストは利用できなくなるのですか？

A 2017年3月までご利用可能です。価格、実施要項は今までと同様です。英語能力判定テストのウェブサイトをご参照ください。

Q 受験料以外に発生する費用はありますか？

A 答案返送費用、受験料お支払い時の振込手数料は団体様のご負担となります。また、オプションをご利用の場合は、オプション料金が発生いたします。

Q 受験料の支払いはどのようなのですか？

A 答案処理(成績データアップロード)後に請求書をお送りいたします。当協会指定の銀行口座にお振り込みください。お見積書の送付をご希望の場合は、お申し込み時にご連絡ください。

●テストの活用例

入学時のクラス分けに

新入生を習熟度別クラスに分ける際、スコアと英検レベルが併記されるため、指導者が対象者のレベルを把握しやすくなっています。



英語力の定期チェックに

定期的に、継続して英語力を測定することで、指導者は受験者の伸長を確認でき、受験者自身もスコアの伸びから成長を実感することができます。



英検を受ける前の力試しに

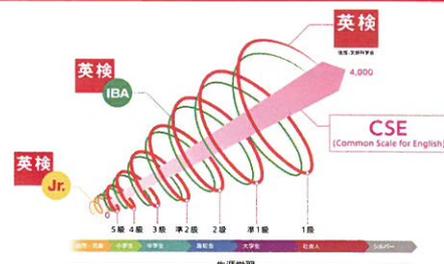
英検レベルが掲載されるので、自分に適した級を選択する目安になります。



【CSEでつながる英検、英検IBA、英検Jr.】

CSEの発表により、学習者にとって、より総合的に当協会の各試験をご利用いただける環境が整ったことから、2015年4月より、「英語能力判定テスト」と「児童英検」をそれぞれ「英検IBA」と「英検Jr.」に名称変更いたしました。ロゴデザインも刷新し、「実用英語技能検定(英検)」のテスト群(「テストファミリー」)として統一ブランドで展開していくことにいたしました。

当協会は、今後も実用英語の普及と向上を目的とした調査研究および教員研修、研究助成などの事業を通じて、日本の英語教育の発展へ寄与してまいります。



●お問い合わせ先

電話でのお問い合わせ 英検サービスセンター(団体受付) TEL: 03-3266-6581
※平日 9:30~17:00

メールでのお問い合わせ E-mail: placement@eiken.or.jp

ウェブサイト 英検IBAウェブサイト: <http://www.eiken.or.jp/eiken-iba/>

英検 公益財団法人
日本英語検定協会

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社 教育測定研究所

測定ツール名：英検 IBA TEST C 4 技能版

対象教科：英語

測定内容の区分：基本レベル

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
日常生活の身近な話題や、社会性を伴う話題に関する文章や場面を理解する上で求められる <u>基本的な語句や表現の意味、およびその使い方を理解することができる。</u>	【設問数】20問程度 【出題形式】選択式	読むこと	中学校学習指導要領 外国語編 第2節 英語 ウ 読むこと (7) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 2 内容 (3) 言語材料 (イ) 言語材料の取扱い ウ 語、連語及び慣用表現
日常生活の身近な場面でのやり取りで用いられる、 <u>基本的な表現(定型表現を含む)</u> を理解することができる。	【設問数】5問程度 【出題形式】選択式	読むこと	中学校学習指導要領 外国語編 第2節 英語 2 内容 (3) 言語材料 (ウ) 言語活動を行うに当たり、主として次に示すような言語の使用場面や言語の働きを取り上げるようにすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
<p>日常生活の身近な話題や社会性を伴う話題に関する<u>説明文を読み、その概要や要点を捉えたり、詳細な点について理解したりすることが</u>できる。</p>	<p>【設問数】10問程度【出題形式】選択式</p> <p>サンプル問題1</p>	<p>読むこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語編 第2節 英語 ウ 読むこと (7) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。</p> <p>高等学校学習指導要領 外国語編 英語編 第2節 コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
日常生活の身近な話題に関するやり取りを聞いて、その内容を理解することができる。	【設問数】15問程度 【出題形式】選択式 サンプル問題2	聞くこと	<p>中学校学習指導要領 外国語編</p> <p>第2節 英語</p> <p>ア 聞くこと</p> <p>(7) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく聞き取ること。</p> <p>(4) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて, 情報を正確に聞き取ること。</p> <p>高等学校学習指導要領 外国語編 英語編</p> <p>第2節 コミュニケーション英語Ⅰ</p> <p>2 内容</p> <p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
日常生活の身近な話題や社会性を伴う話題に関する <u>英文を聞いて、その概要や要点を捉えたり、詳細な点について理解したりすることが</u> できる。	【設問数】15問程度 【出題形式】選択式	聞くこと	<p>中学校学習指導要領 外国語編 第2節 英語 ア 聞くこと (7) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく聞き取ること。 (4) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて, 情報を正確に聞き取ること。</p> <p>高等学校学習指導要領 外国語編 英語編 第2節 コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告, 対話や討論などを聞いて, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
<p>日常生活の身近な話題について、学んだりしたことや経験したことに基づき、<u>自分の考えや気持ちをその理由とともに書くことができる。</u></p>	<p>【設問数】1問程度 【出題形式】記述式 サンプル問題3</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語編 第2節 英語 エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。 (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。</p> <p>高等学校学習指導要領 外国語編 英語編 第2節 コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
日常生活の身近な事柄や社会性がやや高い話題に関する <u>質問に自らの考えや意見を形成し答えることができる。</u>	【設問数】3問程度 【出題形式】記述式 <u>サンプル問題4</u>	話すこと	中学校学習指導要領 外国語編 第2節 英語 イ 話すこと (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。 高等学校学習指導要領 外国語編 英語編 第2節 コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
日常生活の身近な事柄や社会性がやや高い話題に関する <u>文章の概要を理解できる</u> 。また、 <u>聞き手に理解できるように音読</u> できる。	【設問数】2問程度 【出題形式】記述式	話すこと・読むこと	<p>中学校学習指導要領 外国語編 第2節 英語 イ 話すこと (7) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく発音すること。 ウ 読むこと (4) 書かれた内容を考えながら黙読したり, その内容が表現されるように音読すること。</p> <p>高等学校学習指導要領 外国語編 英語編 第2節 コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。また, 聞き手に伝わるように音読する。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>
日常生活の身近な場面における <u>動作や状況を描写</u> できる。	【設問数】2問程度 【出題形式】記述式	話すこと	<p>中学校学習指導要領 外国語編 第2節 英語 イ 話すこと (4) 自分の考えや気持ち, 事実などを聞き手に正しく伝えること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社 教育測定研究所
測定ツール名：英検 IBA TEST C 4 技能版
対象教科：英語
測定内容の区分：基本レベル
サンプル問題番号(大問番号)：1

出題科目	義務教育段階およびコミュニケーション英語 I																												
出題のポイント	日常生活の身近な話題や社会性を伴う話題に関する説明文を読み、その概要や要点を捉えたり、詳細な点について理解できるかを問う。																												
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th colspan="2">思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>(31)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(32)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(33)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(34)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		(31)	○			(32)	○			(33)	○			(34)	○										
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																											
(31)	○																												
(32)	○																												
(33)	○																												
(34)	○																												
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>(31)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(32)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(33)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(34)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	(31)	○			(32)	○			(33)	○			(34)	○										
小問番号	選択式	短答式	記述式																										
(31)	○																												
(32)	○																												
(33)	○																												
(34)	○																												
主として問う技能 (英語のみ)	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td>(31)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(32)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(33)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(34)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	(31)		○			(32)		○			(33)		○			(34)		○					
小問番号	聞く	読む	話す	書く																									
(31)		○																											
(32)		○																											
(33)		○																											
(34)		○																											
サンプル問題	次の英文を読み、(26) から (35) までの質問に対して最も適切なもの、または文を完成させるのに最も適切なものを 1、2、3、4 の中から一つ選びなさい。																												

Police Officers in the U.S.

In the U.S., there are very few police boxes like those in Japan. Most police officers go to the police station to start work. Then they spend many hours driving around in police cars.

There are also several ways to patrol without driving. Some police officers drive motorcycles, and some ride bicycles. In New York City, some police officers ride horses. Horses are faster than cars when traffic is heavy. Also, a police officer sitting on a horse is almost three meters above the ground. It's easy for the officer to see over the cars.

When there is an accident, people call 911 and the police officers go quickly to help. But if there is trouble in the mountains or on the water, the police officers ask specialists go to help. They are called police search and rescue teams.* They use helicopters and boats to find people who get lost in the mountains or need help on the water.

Some big cities want police officers who speak not only English, but also another language. This is because there are many people who do not speak English. If there is a problem, communication is very important. People feel more comfortable when they can talk with a police officer in their own language.

Being a police officer is one of the most difficult jobs in the U.S. It is sometimes dangerous, but it can be exciting and challenging, too.

* police search and rescue teams: 救助警官隊

(31) Where do most American police officers go to start work?

- 1 To New York City.
- 2 To the police station.
- 3 To a police helicopter.
- 4 To a police box.

(32) Why do some police officers ride horses in New York City?

- 1 Because horses are faster than cars when traffic is heavy.
- 2 Because horses cannot see over the cars.
- 3 Because they have to work in the mountains.
- 4 Because they can help people in the ocean.

(33) Why do police officers have to use helicopters in the mountains?

- 1 Because they want to help specialists.
- 2 Because some people lose their way.
- 3 Because traffic is heavy.
- 4 Because their motorcycles are broken.

(34) Why are police officers who speak two languages needed?

- 1 Because many people can speak English.
- 2 Because many police officers can feel more comfortable.
- 3 Because there are many people who don't speak English.
- 4 Because their job is very difficult.

<p>解答例</p>	<p>(31) Where do most American police officers go to start work?</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 To New York City. ② To the police station. 3 To a police helicopter. 4 To a police box. <p>(32) Why do some police officers ride horses in New York City?</p> <ol style="list-style-type: none"> ① Because horses are faster than cars when traffic is heavy. 2 Because horses cannot see over the cars. 3 Because they have to work in the mountains. 4 Because they can help people in the ocean. <p>(33) Why do police officers have to use helicopters in the mountains?</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Because they want to help specialists. ② Because some people lose their way. 3 Because traffic is heavy. 4 Because their motorcycles are broken. <p>(34) Why are police officers who speak two languages needed?</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Because many people can speak English. 2 Because many police officers can feel more comfortable. ③ Because there are many people who don't speak English. 4 Because their job is very difficult.
<p>(参考) 学習指導要領の関連項目</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語編 第2節 英語 ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。</p> <p>高等学校学習指導要領 外国語編 英語編 第2節 コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

サンプル問題について

事業者名：株式会社 教育測定研究所
 測定ツール名：英検 IBA TEST C 4 技能版
 対象教科：英語
 測定内容の区分：基本レベル
 サンプル問題番号(大問番号)：2

出題科目	義務教育段階およびコミュニケーション英語 I				
出題のポイント	日常生活の身近な話題に関するやり取りを聞いて、その内容を理解することができる。				
主として問う能力	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		
	(1)	○			
	(2)	○			
	(14)	○			
	(15)	○			
出題形式	小問番号	選択式	短答式	記述式	
	(1)	○			
	(2)	○			
	(14)	○			
	(15)	○			
主として問う技能 (英語のみ)	小問番号	聞く	読む	話す	書く
	(1)	○			
	(2)	○			
	(14)	○			
	(15)	○			
サンプル問題	対話を聞き、その質問に対して最も適切なものを 1, 2, 3, 4 の中から選びなさい。				

放送部分

No.1

F: How was the concert last night?

M: Great.

F: Was it a long concert?

M: Yes. It was three hours long.

Question: How long was the concert?

印刷部分

- 1 Last night.
- 2 Ten o'clock.
- 3 Three hours.
- 4 Great.

No.2

M: I'm hungry, Mom.

F: There are some cookies on the table.

M: All right. Thanks.

F: Leave some for your sister.

Question: What will the boy eat?

- 1 On the table.
- 2 With his sister.
- 3 All right.
- 4 Some cookies.

No.14

M: I'm sorry I'm late, Marie.

F: What happened, Walter? I've been waiting 30 minutes.

M: I missed the 5:05 train and had to wait 20 minutes for the next one.

F: You really should have left home earlier.

Question: What happened to Walter?

- 1 He missed the train.
- 2 He left home too early.
- 3 He waited for Marie.
- 4 He didn't meet Marie.

No.15

M: Do you mind if I smoke in here, Sally?

F: I'd rather you didn't, Bob.

M: All right. I'll go outside, then.

F: You really should stop, you know.

Question: What does Sally want Bob to do?

- 1 To stop talking.
- 2 To stay inside.
- 3 To smoke inside.
- 4 To stop smoking.

解答例

放送部分

No.1

F: How was the concert last night?

M: Great.

F: Was it a long concert?

M: Yes. It was three hours long.

Question: How long was the concert?

印刷部分

- 1 Last night.
- 2 Ten o'clock.
- ③ Three hours.
- 4 Great.

No.2

M: I'm hungry, Mom.

F: There are some cookies on the table.

M: All right. Thanks.

F: Leave some for your sister.

Question: What will the boy eat?

- 1 On the table.
- 2 With his sister.
- 3 All right.
- ④ Some cookies.

No.14

M: I'm sorry I'm late, Marie.

F: What happened, Walter? I've been waiting 30 minutes.

M: I missed the 5:05 train and had to wait 20 minutes for the next one.

F: You really should have left home earlier.

Question: What happened to Walter?

- 1 He missed the train.
- 2 He left home too early.
- 3 He waited for Marie.
- 4 He didn't meet Marie.

No.15

M: Do you mind if I smoke in here, Sally?

F: I'd rather you didn't, Bob.

M: All right. I'll go outside, then.

F: You really should stop, you know.

Question: What does Sally want Bob to do?

- 1 To stop talking.
- 2 To stay inside.
- 3 To smoke inside.
- 4 ④ stop smoking.

<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語編 第2節 英語 ア 聞くこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく聞き取ること。 (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて, 情報を正確に聞き取ること。</p> <p>高等学校学習指導要領 外国語編 英語編 第2節 コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>
---------------------------------------	--

サンプル問題について

事業者名：株式会社 教育測定研究所
 測定ツール名：英検 IBA TEST C 4 技能版
 対象教科：英語
 測定内容の区分：基本レベル
 サンプル問題番号(大問番号)：3

出題科目	義務教育段階およびコミュニケーション英語 I				
出題のポイント	日常生活の身近な話題について、学んだりしたことや経験したことに基づき、自分の考えや気持ちをその理由とともに書くことができる。				
主として問う能力	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	○	
出題形式	小問番号	選択式	短答式	○	
主として問う技能 (英語のみ)	小問番号	聞く	読む	話す	書く ○
サンプル問題	<p>●あなたは、外国人の友達から以下のQUESTIONをされました。</p> <p>●QUESTIONについて、あなたの考えとその理由を2つ英文で書きなさい。</p> <p>●語数の目安は25語～35語です。</p> <p>●解答は、解答用紙のB面にあるライティング解答欄に書きなさい。なお、解答欄の外に書かれたものは採点されません。</p> <p>●解答がQUESTIONに対応していないと判断された場合は、0点と採点されることがあります。QUESTIONをよく読んでから答えてください。</p> <p>QUESTION <i>What is your favorite season?</i></p>				
解答例	My favorite season is summer. I have two reasons. First, my school has a long vacation. Second, my friends and I can go swimming in the sea.				

	<p style="text-align: center;">(27 語)</p> <p>解答は以下の4つの観点で採点されます。観点ごとに0～4点の5段階で評価され、得点の満点は16点となります。成績結果としてはIRTによりスコア換算されて提供されます。</p> <p>①内容: 課題で求められている内容(考えとそれに沿った理由)が含まれているかどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QUESTION で問われている内容に答えているか。関係のない内容を書いていないか。 ・自分の考えを支持する理由を具体的に2つ書いているか。 <p>②構成: 英文の構成や流れがわかりやすく論理的であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい情報の流れや展開を示す表現(接続詞や順序数詞)を効果的に使えているか。 ・QUESTION やトピックとは関係のない英文が含まれていないか。 ・内容が一貫しているか。論理的に矛盾した部分はないか。 <p>③語彙: 課題にふさわしい語彙を正しく使えているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ語彙や表現の繰り返しになっていないか。 ・英語になっていない表現(和製英語等)を使用したときに説明があるか。 <p>④文法: 文構造のバリエーションやそれらが正しく使われているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語順のルールを守っているか。 ・同じような形の文の繰り返しになっていないか(多様な文のパターンを使えているか)。
<p>(参考) 学習指導要領の関連項目</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語編</p> <p>第2節 英語</p> <p>エ 書くこと</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。</p> <p>(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>(エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。</p> <p>(オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。</p> <p>高等学校学習指導要領 外国語編 英語編</p> <p>第2節 コミュニケーション英語Ⅰ</p> <p>2 内容</p> <p>(1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p>

サンプル問題について

事業者名：株式会社 教育測定研究所
 測定ツール名：英検 IBA TEST C 4 技能版
 対象教科：英語
 測定内容の区分：基本レベル
 サンプル問題番号(大問番号)：4

出題科目	義務教育段階およびコミュニケーション英語 I				
出題のポイント	日常生活の身近な事柄や社会性がやや高い話題に関する質問に自らの考えや意見を形成し答えることができる。				
主として問う能力	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		
	No. 1		○		
	No. 2		○		
	No. 3		○		
出題形式	小問番号	選択式	短答式	記述式	
	No. 1			○	
	No. 2			○	
	No. 3			○	
主として問う技能 (英語のみ)	小問番号	聞く	読む	話す	書く
	No. 1			○	
	No. 2			○	
	No. 3			○	
サンプル問題	<p>No. 1 Do you like to play sports? Yes. → What sport do you play? No. → What do you like to do with your friends?</p> <p>No. 2 Do you like to study? Yes. → Where do you study? No. → What did you do yesterday?</p> <p>No. 3 Do you think drinks in plastic bottles will be more popular in the future?</p>				

	<p>Yes. → Why?</p> <p>No. → Why not?</p>
解答例	<p>No. 1 Do you like to play sports? Yes. → What sport do you play? (解答例) I play tennis. No. → What do you like to do with your friends? (解答例) We like to talk about fashion.</p> <p>No. 2 Do you like to study? Yes. → Where do you study? (解答例) I study at the library. No. → What did you do yesterday? (解答例) I saw a movie.</p> <p>No. 3 There are many kinds of newspapers in Japan today. Do you usually read a newspaper? Yes. → Please tell me more. (解答例) I think reading a newspaper is very useful. I can get a lot of news and information every day. No. → Why not? (解答例) I watch the news on TV every day. Also, I read the news on the Internet.</p> <p>応答は、「内容」に重点を置き、「情報量」と「表現方法(語い、文法・語法)」を合わせて判定されます。</p>
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	<p>中学校学習指導要領 外国語編 第2節 英語 イ 話すこと (イ) 自分の考えや気持ち, 事実などを聞き手に正しく伝えること。</p> <p>高等学校学習指導要領 外国語編 英語編 第2節 コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見の交換をしたりする。</p>

